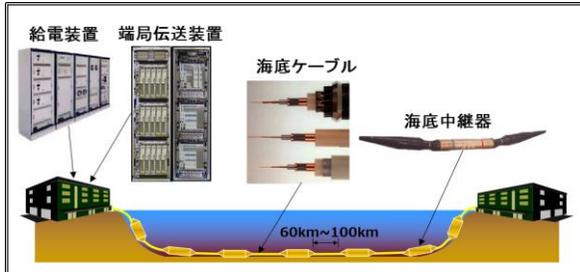


香港・グアム間光海底ケーブル事業への支援の概要

- 株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構（JICT）は、日本電気株式会社（NEC）とともに、香港・グアム間の光海底ケーブル事業に参画するため、同事業に対し**最大50.5百万米ドル（約58億円）**を出融資。
- 同事業は、我が国の光伝送技術や光海底ケーブルの敷設経験を活用して香港・グアム間に総延長約3900キロメートル、設計伝送容量毎秒48テラビットの**光海底ケーブル**を敷設し、**その資産及び使用権の販売等を行うもの**（総事業費は最大138百万米ドル）。平成29年1月に設計・製造・敷設を開始し、平成32年1月に使用開始予定。
- 今後、アジア・太平洋地域の通信需要の拡大に伴い、光海底ケーブル敷設の需要も拡大することが見込まれる反面、競合する新興国企業の台頭も予想される。今般の事業をJICTが支援することによって、**光海底ケーブル敷設に加えてその運営の実績**が我が国の企業に蓄積され、同分野における**我が国の国際競争力が強化**されることが期待される。

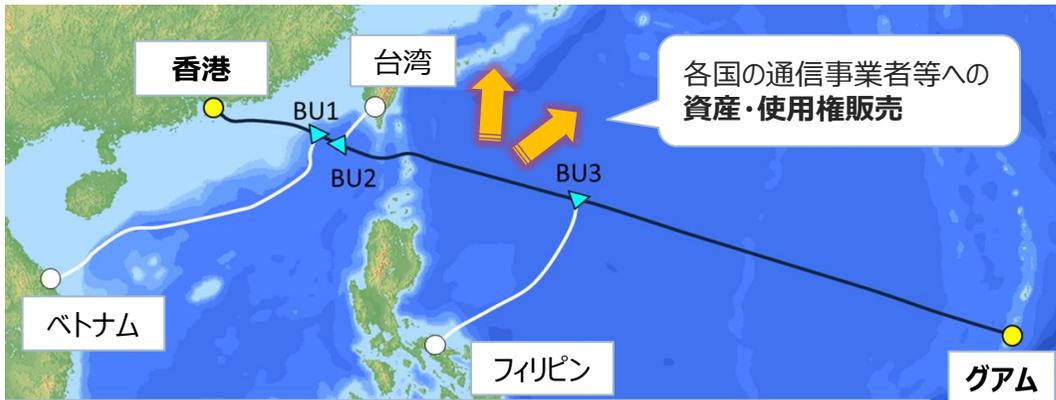
【事業イメージ】



光海底ケーブル敷設

- ・総延長：約3900キロメートル
- ・伝送容量：毎秒48テラビット*
- ・着工：平成29年1月（予定）
- ・完工：平成32年1月（予定）

*計算上、1秒間にフルハイビジョンの映画（2時間）1260本を伝送可能。



（注）図中の黒線は今回敷設するケーブル。白線は将来的に延伸可能なルート。BU1～BU3は延伸を想定して設置する分岐装置。

【事業スキーム】

